

『全国女性会議2003おおつ』に参加して！

都留市男女共同参画推進委員会

平成15年10月17日から18日にかけて、滋賀県大津市において「日本女性会議2003おおつ」が開催されました。委員会から2名が研修、交流を目的に参加しました。参加者それぞれが感じたことを報告いたします。

「日本女性会議2003おおつ」に参加して（委員 佐藤秀子）

年々充実度を増している同会議ですが、7年前に参加した時に比べ男性や若い女性の参加が多くなっていること、実行委員メンバーが若い層になっていること、行政の首長などの参加が多くなっていることなどの変化が感じられました。

シンポジウムでは、「若い世代から見た男女共同参画の未来」と題して、20代から30代の人々が研究会をもち、身近にどんな点で男女差別を感じるか、そして、そのためにどうすればよいか等々、意見交換を重ね次の時代を担う人々に生の声を発信しました。若い活力あふれる声が次へのステップとして期待が持てるような感動のシンポジウムでした。記念講演は、「平和と命の大切さ」と題して瀬戸内寂聴さんが、人生体験の中から、人として、自ら考え行動していくことの大切さを、ユーモアを交えて語り、これまでの男社会に対して、鋭く切り込む内容でした。「あのように思っていることが言えたら」と思いつつ、じつくりと自分を見直し、足元から行動を起こしていくことが大切であるとあらためて感じました。また、住民一人ひとりができることから少しずつ行動を起こすことにより、より早く男女共同参画社会が実現することを確信した講演でもありました。市民の皆さん、行動を起こしましょう。よりよい社会が確立するために。

環境分科会参加の報告

（委員 清水絹代）

「里、川、湖」をテーマにした環境分科会から、都留の環境問題にも取り組んできた私達は、新たに多くのことを学びました。飲料水源の琵琶湖の汚染が1977年に発見され、その1原因（生活雑排水）とされる「中性洗剤の使用規制」と、それに替わる「石けん使用運動」の発祥の地である広い琵琶湖の開発された南湖を一周する湖上会議は環境を語るに最適な場でした。残念ながら汚染は解決しておらず、湖岸の葦の生息破壊などの自然破壊による自浄能力の低下も大きな問題であり、都留の河川の自然形態を守ることの重要性をあらためて感じました。また、地球温暖化対策として、都留市でも取り組んでいる「地域新エネルギーの導入」への関心を持ち、太陽光発電、石けん作りなど実践もしていますので、廃油のリサイクルなどの「菜の花プロジェクト」の様々な活動は日頃の私の思いと重なり、実践の重要性の確認と新たな多くの情報が得られました。

都留の豊富でおいしい恵まれた飲料水をもたらず命を育む環境の保全は、老若男女全ての住民が関心を持ち、行政と住民の協働によるたゆみない環境教育と実践活動が、最重要であり、都留市の「男女共同参画のまちづくり」に欠かせない大きな課題であると確信しました。

伝言板

富士北麓・東部地域振興局健康福祉部（大月保健所）

第一回やまなしボランティアフェスティバルの開催

平成一四年秋、「全国ボランティアフェスティバル」が山梨県で開催され、山梨のボランティア活動を広く県民に伝え、また、全国に発信することができました。

この成果を「やまなしボランティアフェスティバル」として未来につなげ、地域におけるボランティア活動への理解と協力が、更に広がることを願って、毎年開催することになりました。

今年、「生き生きとつなげようボランティアの心」をテーマに、山梨学院大学を会場にして、十二月七日（日）（午前10時～午後三時）に開催されます。

ボランティア活動をしている人、関心のある人たちがつどい、交流を深めることによって、地域におけるボランティア活動が更に広がることを願っています。

「気づき、考え、実行ひろば」
「ふれあい・チャレンジひろば」
「子育てサロン」など

みんなで楽しめるコーナーがいっつも用意されておりまして、日曜日です。家族みんなで参加しましょう。

問合せ 保健福祉企画課

☎(02)7824

『血液事業にご理解を』

皆様には「献血」という形でご理解いただいているこの事業は、昭和三十九年の閣議決定により推進されてきましたが、血液事業の新しい法律が制定されたことにより、血液製剤も含めて海外からの血液に依存しなくて済むよう、国内需給を更に推進することになりました。

今後の人口動態を考えると、献血可能な人口は減少することが予想され、これまで以上に献血へのご協力をお願いしなければなりません。特に若年層からの献血を増やすため、高校生や大学生への普及啓発を一層推進する必要があります。

山梨県においては若い頃の献血体験効果に期待しており、献血バスを全高校に配車して献血への協力をお願いしています。

また、甲府市にある県民会館内の献血ルームでは、十二月三十一日と一月一日を除き年間を通して献血を実施し、若者への献血を呼びかけております。

皆様のお近くで献血バスを見かける機会がありましたら、ご協力をよろしく願っています。

問合せ 保健福祉企画課

☎(02)7824